

# 第1学年 生活科学習指導案

令和3年11月10日(水)2校時

活動場所 1年教室

指導者 槇山 万莉菜

1 単元名 あきとなかよし ～せかいで一つのアキの生きものずかんをつくろう～

## 2 単元の目標

秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、季節が秋に変化したことに気付くとともに、生き物を飼育する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。

## 3 本時の学習

### (1) 目標

校庭や公園などで見つけた秋の生き物のすみかや動きを、Viscuitを用いて、より詳しく表現することができる。

### (2) プログラミングを取り入れる効果

Viscuitを用いて、生き物のすみかや動きを表現することで、身の回りの生き物への関心を高めることができる。

### (3) 展開

学習活動	指導上の留意点(◇評価)
1 前時までの学習内容を振り返り、本時の活動内容を確認する。	・前時までの学習を振り返ることで、生き物のすみかや動きに対応したプログラミングが考えられるようにする。
<b>生きものすみかやうごきをくふうしよう</b>	
2 秋の生き物のすみかや動きを、より本物に近いものとなるように試行錯誤する。 ・一人一人がプログラムを改良する。 ・途中、友達の作品の良さをグループで話し合い、さらに改良する。(すみか、動き、色)	・途中、児童の作品を紹介し合うことで、すみかや動きの特徴など具体的な表現ができるように確認する。 ・自分の作品と友達の作品とを比べることで、よりよくしようという意欲付けをする。 ◇秋の生き物のすみかや動きを試行錯誤しながら、より詳しく表現しているか。
3 改良して、出来上がった作品を発表し、気付いたことや良さを伝え合う。	・友達の、より特徴を捉えた表現の工夫に着目して、作品を見るように着眼点を提示する。
4 本時の活動を振り返り、次回の活動への意欲をもつ。	・今後の気付きの深まりや意欲付けにつなげていく。

## 4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	・秋の生き物のすみかや動きを試行錯誤しながら、より詳しく表現している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	・秋の生き物のすみかや動きに対する様々な表現方法を具体的に例示したり、友達の表現を参考にするように助言したりする。

